

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 28 年度第 6 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成 29 年 1 月 24 日 (火)		
開催場所	小金井市役所第 2 庁舎 8 階 801 会議室		
出席者	委員	<出席者：15 名> 渡辺会長・岡山副会長・大江委員・岸野委員・林委員・多田委員・黒須委員・齋藤委員・石田委員・北澤委員・杉本委員・吉田委員・山田委員・清水委員・波多野委員 <欠席者：0 名>	
	事務局	小野ごみ対策課長・藤田ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・立川・玉井	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 2 報 告 平成 28 年度燃やすごみの月別比較について 平成 28 年度可燃ごみ処理の支援状況について 専門委員会（未活用資源（可燃ごみに含まれる資源化可能物）の有効利用方策の調査・研究に関する小委員会）第 3 回専門委員会開催の報告について 3 議 題 平成 29 年度一般廃棄物処理計画について		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他	次回開催予定 平成 29 年 2 月 15 日 (水) 小金井市中間処理場 事務所棟研修室 1		

審議過程（主な発言等）

渡辺会長	これより平成28年度第6回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。齋藤委員から遅刻の連絡が入っている。 それでは、事務局に本日の配布資料の確認をお願いしたい。
玉井減量推進係主任	(事前送付資料・本日配布資料確認)
渡辺会長	それでは、前回の審議会の会議録について修正等があれば申し出て頂きたい。
大江委員	4ページの敬称が「会長」となっているため、訂正をお願いする。
渡辺会長	2ページの私の発言の「実施目標を立てないということになると」の部分だが、計画にどのような形で掲載するかという主旨で発言したつもりなので、「HPなどに」という部分は削除して頂きたい。
林委員	3ページの私の発言の「評価の低いものに着目して見て行く必要があるのではないか」の部分の前に「前年度の」と入れて頂きたい。
渡辺会長	以上の3点を修正して事務局より公開する。 それでは、提出資料説明と報告をお願いする。
玉井減量推進係主任	(「平成28年度燃やすごみ処理量の昨年度との月別比較について」を説明)
藤田ごみ処理施設担当課長	(「平成28年度可燃ごみ処理の支援状況について」を説明)
岡山副会長	(「可燃ごみに含まれる資源化可能物の有効利用方策の調査・研究に関する小委員会 第3回」についての報告)
渡辺会長	それでは、審議に入りたい。 前回、基本計画との整合性もあるので、実施計画の計画項目の1から10までは触らないということで合意が得られたと思う。今日は、施策の内容に関して増やすとか減らすとか、実施目標の表し方について審議したい。4名の方から資料を提出頂いているので、まず石田委員から簡単に説明をお願いしたい。
石田委員	(提出資料説明)

審議過程（主な発言等）

杉本委員	(提出資料説明)
林委員	(提出資料説明)
北澤委員	(提出資料説明)
渡辺会長	10年間で40g減らすとなると28年度で0.5g達成できない場合は、29年度は0.5gプラスして計画するのか。年間4gという固定で考えて良いのか、事務局の見解を伺いたい。
小野ごみ対策課長	基本計画策定時は、10年間で40g（実際には11年間であるが）、1年あたり4gという単純な計算になる。実際に、平成27年度以降は新しい基本計画の基に事業が進んでいるが、平成27年度は目標達成できず、平成28年度についても目標達成できない見込みである。基本計画策定の段階では、1年間で4gという目標であるが、5年の見直しの時期に目標設定も併せて見直しを行う形で計画策定した。よって、目標達成状況を反映させて、年度によって目標数値を調整し変更していくという考え方はもっていない。以上である。
渡辺会長	中間の見直しのときに調整するというので、29年度も4gという路線で良いかと思う。
杉本委員	達成できなかった場合はどうなるのか。
小野ごみ対策課長	5年経過の時点で見直しを行う。目標の達成状況を鑑みて、見直しの時期に数値をどうするかは審議会で審議していただくことになる。
渡辺会長	石田委員からご指摘のあった表記に関する部分だが、事務局で検討していくことでよいか。
石田委員	読み易くするためというお願いなので、可能な範囲で検討して頂ければと思う。
林委員	石田委員が指摘されたりサイクル事業所の事業所数についてであるが、事務局の見解を伺いたい。
小野ごみ対策課長	事業所数が8から6に減った部分については、認定を取り消したの

審議過程（主な発言等）

	<p>ではなく、店舗が閉店したためである。また、実績数値の整合については、実施計画の素案策定時に事業所数を変更したためである。平成28年度は5事業所増えたため11事業所になり、また来年度増やしていくという目標数値である。9月末の数値と年度末の実態数値の整合は取れていない。</p>
渡辺会長	<p>この表を見たときに整合性がないのではないかと疑問が出てくるので、それに関しては注意書きしたほうが良いのではないかと。</p>
林委員	<p>2ページ「…大切です」とあるが、誰が誰に言っているのか。行政が市民に対する文章としてはこの書き方はいかがなものか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>基本計画では私達の実施主体だ。29年度はこの部分の表現を変えるのは可能だ。</p> <p>北澤委員にお聞きしたいのだが、「定常実施」の「定常」という言葉は自治体では使わないのだが、一般的な言葉なのか。</p>
北澤委員	<p>一般的に、継続して行なっている業務を定常業務という。</p>
林委員	<p>「随時」は多少いい加減な印象で、市民として読んだときに言い訳のように感じてしまう。</p>
北澤委員	<p>「随時」という言葉は、不確定要素が強い。「随時」という言葉を使っているのは、殆んど目標を立てられないことの現れだと思う。</p>
林委員	<p>数値が設定しづらいものは、何回とかではなく、何をやるのか書いたほうが、施策に対する具体的なイメージが湧くのではないかと。</p>
北澤委員	<p>しかし、書けるものは書いているので、そこまで書けないものを「随時」と書かざるを得ないのではないかと。</p>
岡山副会長	<p>ごみ相談員の連携も確かに「随時」だ。一方、個別訪問による分別指導も「随時」だが、これは必要に応じてということだ。基本的にここは全部そういうことかと思う。</p>
林委員	<p>ごみ相談員との連携は、必要に応じてではないと思う。具体的にどのような連携をしていくのかという事になる。適当なときとか、時期が来たらとか、そういうタイミングで随時やるという話ではなく、</p>

審議過程（主な発言等）

<p>黒須委員</p>	<p>もっと具体的にやるということを市が宣言するものであると思う。「ごみ相談員との連携」については、私は「再構築」という言葉を使った。</p> <p>私は町会に属しているが、ごみ相談員をどこで誰がやっているのかわらなかつたし、ごみカレンダーを見ても書いていないし、市報にも載っていなかつたと思う。周知をもっと徹底して欲しい。学校に生ごみを持って行っているのだが、行事があるときは中止だ。ここに「小・中学校における環境教育の推進」と書かれているが、親子で学校に来るせつかくの機会を利用できないのは残念だ。ボランティアさんから土曜日の生ごみ投入は、市のバックアップはないと聞いている。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>学校行事の日に給食がある場合は、生ごみ処理機の容量がいっぱいになってしまうため、断らざるを得ない。また、学校行事を円滑に進めるための学校側の配慮もあると思う。学校によっては、学校行事がある日も土曜日投入をやっている場合もあるが、その判断は実情を鑑みた学校の方針によるものだと思う。</p> <p>夏休み生ごみ投入は市の事業として実施しているが、土曜日投入は市民の自主活動として実施しているものである。土曜日投入を市の事業として実施すべきとの意見もあるが、時間外勤務としてほぼ毎週各校に職員を配置することはなかなか難しい。できる限りバックアップしたいと思う。</p>
<p>林委員</p>	<p>ごみゼロ化推進委員になると規定上、自動的に相談員になって、玄関に「ごみの相談員」という札を掛けているので、それが目印になる。</p>
<p>多田委員</p>	<p>集合住宅に住んでいる人は、掲げていない人もいるし、町会自治会から推薦されて出てきている人もおり、札を掛けるとは限らない。周知の方法も難しいと思う。</p>
<p>杉本委員</p>	<p>「随時」というのは、時に随うことだ。時によって左右される。もう少しクリアにしたほうが良いと思う。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>一つ一つの項目について「随時」という表記でよいのかどうかは、検討していく。表の「計画項目（取組内容）」については、基本計画との整合があるため、変更しない方が良いかと思う。年40回、学習機会、広報媒体のところに関しては、5と6の啓発と環境教育のところにまとめて書いて、引用とか参照という形に実施目標のところだけ変</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>えるのはいかがか。</p>
<p>林委員</p>	<p>基本計画の概要版の中で、計画項目の取組内容は、「施策」として記述されており、ここはいじらないでよいと思う。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>この表は「計画項目」があって、その下に「取組内容」があり、対応する「施策」が横に並んでいる。最終的な評価方法としては、「施策」の評価をするのか、「取組内容」を評価するのか検討が必要ではないか。</p>
<p>林委員</p>	<p>「施策」を評価することが、内容を評価することにつながっていると思う。前回の評価で悩んだのは、「取組内容」の（１）～（５）の項目を評価しようとしたから難しかったのであって、「施策」に「取組内容」を貼り付ければよいと思う。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>今年はそうしよう。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>「学習機会」、「広報媒体」のように複数出てくる施策の「目標」は、５の「啓発活動の強化」と６の「環境教育・環境学習の推進」にまとめて詳しく書いて、引用とか参照という形に変えることでいかがか。</p>
<p>山田委員</p>	<p>燃やすごみを３g、その他を１g減量することが目標であれば、この施策がどれだけ影響するのかイメージしないと最終結果に結びつかないのではないか。燃やすごみを３g減らすために重点的にやることを最優先強化にしないと評価するときにそういうのもあったということになりかねない。</p>
<p>林委員</p>	<p>転入者に分別を徹底してもらおうという行為とそのお陰で今年度何グラム減ったというのは証明できない。目標で数字を揚げるとしても、そこに至るための手段を考え効果的な施策を実施していくしかない。</p>
<p>山田委員</p>	<p>そうすると、最優先強化の部分は変わってくるのではないか。転入者への施策を強化したほうがもっと減ると思う。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>「最優先強化」、「強化」、「充実」は今回の計画で変更できる内容なのか。それとも基本計画との整合があるのか。</p>

審議過程（主な発言等）

小野ごみ対策課長	基本計画では別の表記をしているため、変更は可能かと思う。
渡辺会長	数値目標と連動して何がどれだけ削減量に貢献するのかということに繋げるのは非常に難しいので、計画項目を立ててやっていこうという話になっている。よって、ここでは厳密に数値にどう結びつくのか拘らなくても良いのではないかな。
林委員	審議会で考えなければいけない事は、数値目標を達成するために、どれが一番効くだろうかということを経験し、優先順位をつけていくことだと思っている。
大江委員	数値目標は、今まで小金井市が置かれていた状況から目標として、毎年5g減量などに設定してきた経緯がある。計画項目と減量施策のマッチングが必ずしもできる状況ではなかった。また、定常的に実施している施策（ルーチンワーク）はここには入っていないので、ここで全体として施策と効果を把握するのは難しいのではないかな。
林委員	減量のために今年度何を最優先に実施したらよいかを議論出来たらよい。例えば、転入者対策は以前から項目や施策に挙げられているのにも拘らず一歩進んで着手できていないのは、議論が足りないのではないかな。
大江委員	決め手として小委員会のほうで何か挙げてきていないかな。
岡山副会長	未だ調査研究の段階だ。
渡辺会長	それでは、1の「ごみを出さないライフスタイルの推進」からみると、施策として入れるのであれば、食品ロスのところにはフードドライブを入れるくらいだと思いがいかかな。
小野ごみ対策課長	フードドライブについては、あくまでも試行実施としたものであって、本格実施に当たってごみ対策課が実施することが良いのか、他の課が主体となるべきかについては、議会でも議論になった。食育を所管する部署、福祉を所管する部署や飲食店を所管する部署等と連携していくということで答弁させていただいた。そのため、現段階において「フードドライブ」と具体的に加えることは再考いただきたい。
渡辺会長	それでは、フードドライブの試行に関しては、調査・研究の中に含

審議過程（主な発言等）

波多野委員	<p>まれるという解釈で、施策としてはこのままにしたい。</p> <p>議論にあったように、「計画項目」に対応する施策を多少意識して考えると、例えば「(1) ライフスタイル変革への支援」に対応する施策は何になるのか伺いたい。</p>
渡辺会長	<p>「学習の機会への参加及び学習の場の提供」になるのではないか。</p>
山田委員	<p>今度食品リサイクルのエンザへ行くことがきっかけで、今のリサイクルの状況を見直すことになるかもしれない。</p>
渡辺会長	<p>それは、4番の「資源循環システムの構築」のほうに掛かってくるかと思う。</p> <p>では、2番の「リユースの推進」のところに関しては、増やすとか減らすとかはなかったように思う。</p>
岡山副会長	<p>ライフスタイル変革への支援は具体的には施策で何をやるのか。</p>
林委員	<p>マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用促進は具体的な施策だ。</p>
岡山副会長	<p>例えば、ライフスタイル変革への支援をどうやって行うかについて、チラシを全戸配布するとか、すべての小学校で講座をやります等具体的なことがあると思う。ここに全部書いていなくても、例えば5と6の施策に書いてあれば、そこを参照という書き方で良いと思う。</p>
渡辺会長	<p>それでは、1の「学習機会への参加及び学習の場の提供」の「目標」には、「5、6参照」と入れる。</p>
岡山副会長	<p>ごみゼロ化推進員制度の再構築だが、ごみゼロ化推進員との連携の強化というのも、ライフスタイル変革への支援とかマイバッグ・マイボトル・マイ箸利用促進に繋がるのではないか。</p>
林委員	<p>「学習機会への参加及び学習の場の提供」の主語は誰なのか分からない。</p>
渡辺会長	<p>「学習機会の提供」で良いのではないか。</p>
石田委員	<p>「ライフスタイル変革のための学習機会の提供」としてはいかがか。</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>最優先強化項目であるため、その下にも繋がってくる。ここで明確に記載し、それ以降は簡単な引用で良いのではないかと。</p>
吉田委員	<p>学習の機会を増やす具体的な方策を出さなくて良いのか。</p>
林委員	<p>学習の機会を増やす方策は、ごみゼロ化推進会議の中で自治会・町内会・子供会への声掛けをして貰えるような働き掛けをしてはどうか。</p>
吉田委員	<p>もっと具体的なことをやれば少しは違うかと思うのだが。</p>
岡山副会長	<p>ライフスタイル変革の支援に対応する施策は、学習機会の提供だけでなく、広報媒体の数値もあるだろうし、キャンペーンもあるだろうと思う。</p>
林委員	<p>5番の「啓発活動の強化」ところには、ごみ減量キャンペーンの他にイベントへの出展も入れて良いのではないかと。「取組内容」の（1）～（6）に対応する施策を追加すればよいのではないかと。</p>
渡辺会長	<p>全体を通して「学習機会の提供」とか「広報媒体の周知」というのは、「5参照」とか「6参照」という形にする。そして、5、6の項目のところを増やすとすれば何を入れるか。キャンペーンを実施するというのを入れるのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>元々載っていたものが12月までの実施状況を本日配布した参考資料の3ページ目の啓発活動の強化に記載している。基本計画を作ったときに、平成27年度の実施計画も前委員の方々に作って頂いた。その際により多くの市としての取り組みを明らかにして、市民に分かってもらうことによって、ごみの減量・資源化に繋げようというのがこれだけのものを書いた発端だ。計画項目の取組内容については、基本計画に書いているものもある。例えばごみを出さないライフスタイルの推進に関して、取組内容を書かせて頂いているが、其々どういうことをやって、これを実現していこうかというところを前委員の方々に長い時間を掛けて議論して頂いた結果が、28年度の実施項目の中に書いている。現委員の考え方を反映していかなければならないが、その基礎となる部分を踏まえて議論して頂きたい。</p>
林委員	<p>施策の内容がオーバーラップしている部分もあるので、もっと整理</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>して「計画項目」の取組内容に概ねぶら下がるような施策項目、他とは重ならないような具体的な施策を設定していけば整理しやすいのではないか。</p>
大江委員	<p>今回は重点的なものを明らかにし、計画項目の数くらい施策を立てられれば整理しやすいかもしれない。</p>
石田委員	<p>分かりやすくするため、「施策」にもできるだけ取組内容の言葉を引用できないか。</p>
林委員	<p>「取組内容」と「施策」の対応には、番号ではなく、対応する番号欄を表に設けるのはどうか。1対1対応になりすっきりする。ただし、同じ言葉が入る施策項目は出てくると思う。</p>
波多野委員	<p>複数に関連する項目があるため同じ項目が何度も出てくることになる。まとめられる項目もあるが、どちらの記載方法にするかを決めないと、なかなか進まないと思う。</p>
渡辺会長	<p>基本的にまとめてもいいものはまとめておいて、あえて是非別に立てたい施策があるならば記載すれば良いと思う。</p>
岡山副会長	<p>広報媒体活動の周知にまとめてしまったので、具体的な施策が分からなくなってしまった。よって、ごみカレンダー、市報、ホームページ、チラシ、キャンペーン活動、イベント出店、スマホなどはあっても良いのかと思う。</p>
渡辺会長	<p>今日は、原案を作る段階まで詰めたい。</p>
石田委員	<p>杉本委員や林委員と北澤委員が目指している資料は性格が違うので、どちらの方針で最終決定するのか。</p>
北澤委員	<p>計画項目というのは10年でやれば良いことなので、今年度はそのうちの何をやるのかというのが施策で出てくるので一対一対応する必要はないと思う。</p>
岡山副会長	<p>キャンペーンもイベントも学習機会の提供に含まれている。広報媒体に広報も市報もチラシもごみカレンダーも含まれているという理解で施策と捉えるのであれば、このままでもある程度集約されている</p>

審議過程（主な発言等）

	のかと思う。
林委員	初めて見た転入者等、市民が分かるものにしたほうが良いと思う。
渡辺会長	項目の数はこのままにして、「目標」欄で「5、6参照」表現を具体的にする。
多田委員	施策に一つ一つ備考を設けて詳しく説明するのはどうか。
石田委員	形容詞をつければ良いのではないか。言葉の問題で解決できるのではないか。
小野ごみ対策長	<p>施策の記載を削った部分については、誤解を避けるために15ページに文言として施策が無くなったわけではないことを説明している。また、「随時」の表記については、もう少し表現を変えていく形で「基本計画」、「実施計画」として市として今後より一層具体化する形にしていければいいと思っている。</p> <p>「学習機会の提供」のところには、小学校だけではなく、キャンペーンやイベントなども含む。また、広報媒体も必ずしも広報だけでなく、チラシやスマホも入っているという例示を挙げる。そうすればここを見た人は分かる。</p>
岡山副会長	これは是非取り上げたいものだけを入れるということで良いのではないかと思う。
林委員	転入者対策については具体的な対策が思い浮かばない。現状で良いのであれば議論する必要はない。変えていく必要があるのに施策として挙がってこないというのはいかがなものか。
小野ごみ対策課長	転入者対策として、転入者に向けて啓発強化の具体策をごみゼロ化推進員と会議と連携して検討するというを実際にやりたいと思っている。文言として落とすかどうかは皆さんで議論して頂きたい。
林委員	私は、現状ではこの表記で構わないと思うが。
大江委員	15ページに文章で書いているが、表などになっていないと一覧性がない。読んで初めて理解するのは厳しいので、ここに書いていても学習機会の参加とか、広報媒体を活用した具体例の表を付けたほうが

審議過程（主な発言等）

	<p>分り易いと思う。そうすると5の啓発活動のまとめであっても、参照し易くなる。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>広報媒体活用による周知は、この表では具体像が見にくいので別表にするか。</p>
<p>波多野委員</p>	<p>括弧書きで、「広報媒体活用による周知（ごみ・リサイクルカレンダー、市報、チラシなど）」、「学習機会の提供（イベント、キャンペーン、学校関係など）」で良いのではないか。</p>
<p>大江委員</p>	<p>転入者の啓発強化はもうひとつ項目を立てても良い。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>増やす施策は、転入者の対応くらいだと思うが、他にも別立てで施策に入れたいものがあるか。</p>
<p>林委員</p>	<p>ごみ減量キャンペーンは記載しないか。前年度はあったと思う。キャンペーンとイベントは市民から見える一つの大きな施策だと思う。また、最近イベントは市が単独でやっているが、ごみゼロ化推進会議と協働でやる活動だと思う。キャンペーンとは別出して謳ったほうが活動しやすいと思う。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>5「啓発活動の強化」のところにキャンペーンとイベントと転入者への啓発強化を加えるというのは、原案のままということになる。「広報媒体活用による周知」と「学習機会の提供」は括弧書きで5と6に加える。</p> <p>小委員会で出た可燃ごみの組成分析の件だが、分別の徹底の計画では、年4回ルーチンでやるとしか入っていないので、実施目標を変えるのか。ルーチンでやっているの、敢えて書く必要はないのではないか。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>以前も話したが、法律で可燃ごみを開けられる場所は決まっている。他市に協力して頂かなければならないので、計画として載せるのは厳しい。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>組成分析については、実施方法を別途検討することでよいと思う。</p>
<p>大江委員</p>	<p>不燃の組成分析を削っているのが長期的に影響すると思う。不燃の組成がどうなっているのかというときにデータがなくなってしまう。</p>

審議過程（主な発言等）

<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>武蔵野市では、不燃の許可業者を抜き打ちで調査するので効果がある。基礎データなので1回でもやっておくべきだ。</p> <p>不燃の組成分析は、業者に依頼する方法もあるが、中間処理場で皆さんにやってくれることも可能だ。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>不燃は是非やりたい。他に何かあるか。</p>
<p>林委員</p>	<p>市民課で転入者向けに、ごみ・リサイクルカレンダーと一緒にごみの手引きを配布して頂きたい。とても役に立つため、希望としてお伝えしておく。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>ごみ分別アプリ等も活用して欲しい。</p> <p>次回は、2月15日午後3時から中間処理場で行う。次回は結審になる。</p>
<p>林委員</p>	<p>「最優先」「強化」「充実」の表記を「優先実施」「重点実施」「継続実施」に変える北澤委員の提案の扱いを伺いたい。私は賛成だが。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>私も良いと思う。また、石田委員の日本語の文言訂正の部分も訂正することで良いと思う。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>そのように修正する。それでは、これで散会とする。</p>

以上